

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公表番号】特表2014-522899(P2014-522899A)

【公表日】平成26年9月8日(2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2014-048

【出願番号】特願2014-519676(P2014-519676)

【国際特許分類】

C 09 J 4/04 (2006.01)

C 09 J 11/06 (2006.01)

C 09 J 133/10 (2006.01)

【F I】

C 09 J 4/04

C 09 J 11/06

C 09 J 133/10

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月22日(2015.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) シアノアクリレート成分、及び

(b) 水素化芳香族無水物

を含む、シアノアクリレート接着剤組成物。

【請求項2】

更に、ベンゾニトリルを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記水素化芳香族無水物が水素化無水フタル酸である、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記水素化芳香族無水物がテトラヒドロフタル酸無水物である、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記ベンゾニトリルが、3,5-ジニトロベンゾニトリル、2-クロロ-3,5-ジニトロベンゾニトリル、ペンタフルオロベンゾニトリル、-, -, -2-テトラフルオロ-p-トルニトリル、及びテトラクロロテレフタロニトリルからなる群より選択される、請求項2に記載の組成物。

【請求項6】

更に、酸性安定剤及びフリーラジカル抑制剤を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

前記シアノアクリレート成分が、 $H_2C = C(CN) - COOR$ の構造(式中、Rは、C₁~C₅アルキル、アルコキシアルキル、シクロアルキル、アルケニル、アラルキル、アリール、アリル及びハロアルキル基より選択される)の範囲内の物質から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項8】

前記シアノアクリレート成分が、エチル-2-シアノアクリレートを含む、請求項1に

記載の組成物。

【請求項 9】

更に、カリックスアレーン、オキサカリックスアレーン、シラクラウン、シクロデキストリン、クラウンエーテル、ポリ(エチレンギリコール)ジ(メタ)アクリレート、エトキシリ化ヒドロキシ化合物及びそれらの組み合わせからなる群より選択される促進剤成分を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 10】

前記カリックスアレーンが、テトラブチルテトラ[2-エトキシ-2-オキソエトキシ]カリックス-4-アレーンである、請求項9に記載の組成物。

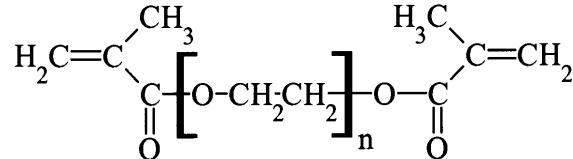
【請求項 11】

前記クラウンエーテルが、15-クラウン-5、18-クラウン-6、ジベンゾ-18-クラウン-6、ベンゾ-15-クラウン-5-ジベンゾ-24-クラウン-8、ジベンゾ-30-クラウン-10、トリベンゾ-18-クラウン-6、asym-ジベンゾ-22-クラウン-6、ジベンゾ-14-クラウン-4、ジシクロヘキシル-18-クラウン-6、ジシクロヘキシル-24-クラウン-8、シクロヘキシル-12-クラウン-4、1,2-デカリル-15-クラウン-5、1,2-ナフト-15-クラウン-5、3,4,5-ナフチル-16-クラウン-5、1,2-メチル-ベンゾ-18-クラウン-6、1,2-t-ブチル-18-クラウン-6、1,2-ビニルベンゾ-15-クラウン-5、1,2-ビニルベンゾ-18-クラウン-6、1,2-t-ブチル-シクロヘキシル-18-クラウン-6、asym-ジベンゾ-22-クラウン-6、及び1,2-ベンゾ-1,4-ベンゾ-5-O-20-クラウン-7並びにそれらの組み合わせからなる群内の構成物質より選択される、請求項9に記載の組成物。

【請求項 12】

前記ポリ(エチレンギリコール)ジ(メタ)アクリレートが、次の構造

【化1】



(式中、nは3よりも大きい)

の範囲内にある、請求項9に記載の組成物。

【請求項 13】

更に、耐衝撃性添加剤、チクソトロピー性付与剤、増粘剤、色素、耐熱分解性増強剤及びそれらの組み合わせからなる群より選択される添加剤を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 14】

請求項1に記載の組成物の反応生成物。

【請求項 15】

二つの基材を接合する方法であって、

基材の少なくとも一つに、請求項1に記載のシアノアクリレート含有組成物を塗布するステップ、及び

接着剤を固化し得るのに十分な時間、基材を一体にするステップ、
を含む方法。

【請求項 16】

請求項 1 に記載のシアノアクリレート含有組成物の調製方法であって、シアノアクリレート成分を用意するステップ、及びそれに、水素化芳香族無水物及び任意選択でベンゾニトリルを、混合により混ぜ合わせるステップ、を含む方法。

【請求項 1 7】

固化速度、安定性又は色調の少なくとも一つを損なうことなく、シアノアクリレート組成物の硬化生成物に対して向上した耐熱性を付与する方法であって、

シアノアクリレート組成物を用意するステップと、水素化芳香族無水物及び任意選択でベンゾニトリルを用意するステップと、を含む方法。

【請求項 1 8】

シアノアクリレート成分を含むシアノアクリレート組成物であって、その改良が、シアノアクリレート組成物の固化時間を損なうことなく硬化反応生成物の耐熱性を改良するために、シアノアクリレート成分に水素化芳香族無水物を添加することを含むシアノアクリレート組成物。

【請求項 1 9】

更に、ベンゾニトリルを含む、請求項 1 8 に記載の組成物。